

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		済生会なでしこ園		公表日		2026年2月16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	1	・訪問支援で使用する道具はその都度作成している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・現段階では、利用児に対して支援員は少なく感じる。ケースによっては負担が大きくなるので、今後は支援員を増やせるのであれば増やしたほうが良いと思う。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		・訪問支援員同士や、児童発達支援事業と明確に連携する機会がない。 ・訪問支援員間でどのような訪問を行なっているのか、話し合う機会が作れていない。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		・評価表をまだ確認できていない。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	・訪問前に対象児童のどのような姿が気になるか、担任にも一度聞くようにしている。	・保育所等訪問における意見の把握の場が今まで行われたのかが分からないため、業務改善につながっているかが不明。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		・保育所等訪問が第三者評価でどのように評価されたのかを把握できていない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・発達特性について繰り返し学ぶことができている。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		・現状確認シートや実際に来園し、園での様子をアセスメントしている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		・会議にて直接お話しする機会を設け、意向を確認している。 ・訪問会議では子どもの様子だけでなく、担任の先生の思いや日々の保育の様子を汲み取るようにしている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・児童発達支援の計画と合わせて記載することで、関わる職員が目を通せるようになっている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		・自分自身、再度確認が必要である。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		・担当支援員しか確認しないことが多い。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・訪問にあたってどのような姿を確認するのか明確にしている。	・担当者のみで実施することが多い。 ・1人で訪問先に何うことも多いため、打ち合わせなどはあまりしない。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・訪問支援に関しては、訪問終了後に共有することは少なく、1人で対応が難しい際には上司に共有する方法で進めている。	・担当者のみで実施することが多い。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5		・初めて訪問する際は必ず理念等を調べて臨んでいる。 ・各園の理念を確認している。			

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5		・記録以外に経過を示すメモをつけている。 ・訪問で確認した姿を支援に当たる担任に伝え、日頃に活かせるようにしている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・本園で開催する個別支援計画会議に相談支援専門員を招き、開催することがある。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		・小学校とは連携が図れていない。今後必要だと感じる。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・訪問前後に話す機会を設けるようにしている。	・課題や発達状況の共通理解できるよう心掛けているが、難しいことも多い。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・保護者勉強会、支援見学日、茶話会等を開催している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・説明する機会がなかった。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5		・同意を得る際にご家庭での様子を再度お尋ねする等、配慮していきたい。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5		・定期的に面談の機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1	・訪問ではなく、各クラスで行なっている。	・保育所等訪問のみの利用児に対しては、行えていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	35	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5		・おたより、電話、直接面談にて報告している。	
訪	36	訪問先施設への説明等に関して、個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・情報提供に関して迷いがある際は、上司に相談するようにしている。	

問 先 施 設 へ の 説 明 等	37	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係の構築を土台に、相談してもらえる相手になることをまずは目指している。訪問先の取り組みを受け止め、助言や必要時には別の対応方法を提案するなど、意見が交わされる間柄を目指している。 ・その場で解決できない時は一度園を持ち帰り、訪問員や担任間で解決案を検討できるようにしていきたい。 ・傾聴の姿勢を第一に、子どもたちの困っていることについて伝えられること、共有できることを増やしていけるように心掛けている。 	
非 常 時 等 の 対 応	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・訪問支援に関しては行えていない。
	39	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		・訪問支援では行っていない。
	40	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・危険に感じた時は即座に伝えるようにしている。	
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・研修を通して職員間で話し合うことができた。今後も検討が必要になると思うが、支援に当たる担任同士でまずは検討していきたい。	